

中等部第2回入試（2科／4科／英語利用）について

学校長 岡 真由美

2027年度（令和9年度）より、第2回中等部入試で、英語外部試験を活用した英語利用入試を導入します。

現代社会は急速にグローバル化が進み、異なる文化や価値観を持つ人々と協働する力がこれまで以上に求められています。そのため、英語は単なる教科を超え、世界中の人たちと信頼で結ばれるための大切な基盤だと考えています。

私たちは「英語の点数」だけでなく、生徒一人ひとりがどのように学び、この先、どのように世界と向き合いたいのか、その学びと思考のプロセスに大きな可能性があると考えています。とりわけ、英語に親しみ、努力を続けてきた児童の力を中等部入試に反映させたいと考えました。

様々な環境で英語を学び続けてきた児童にも幅広く門戸を開き、多様な経験や視点を持つ仲間が集まることで、新たな価値が生まれると考えています。変化の激しい時代に自ら考え、世界と協働し、未来を切り拓く人材をこれからも育成していきます。

評価基準表

実用英語技能検定	CSE スコア	※入試判定点に加点
3級取得	1456～1727点	+5点
準2級以上取得	1728点以上	+10点

※CSE スコアを満たしていれば、実用英語技能検定の合否に関わらず加点します。

例：準2級を合格していないが準2級プラスを受験してCSE スコアを1728点以上取得している場合は、10点加点となります。

※第2回入試の英語利用入試は、定員を定めずに実施します。

※他の英語外部資格は、CEFR 対照表に準じて得点化します。

※入試判定点：

2科目受験の場合

国語(100点)・算数(100点)の合計得点を判定点とします。

4科目受験の場合

国語(100点)・算数(100点)・社会(75点)・理科(75点)の合計得点を200点満点に換算し、その換算得点と、国語と算数2科目の合計得点を比較して、高い方を判定点とします。